

平成 27 年度第 1 回日進市保健センター運営協議会議事録

<概 要>

日 時	平成 27 年 7 月 29 日（水曜日）午後 1 時 30 分から午後 2 時 45 分まで
場 所	日進市保健センター2 階会議室
出席者	（委員 9 名） 土岐由香理（医師）、宮脇利明（歯科医師）、山田翔（歯科医師）、森 道成（薬剤師）、田中八隆（日進市社会福祉協議会長）、市川豊（あいち尾東農業協同組合日進地域総括理事）、岩月ミサヲ（日進市地域女性団体連絡協議会会長）、市川みどり（学識経験者）、齋藤信子（公募市民）（順不同）
欠席者	3 名
事務局	山中和彦（健康福祉部長）、浅井金敏（健康福祉部参事）、小塚多佳子（健康課長）、伊東あゆみ（健康課主幹）、牟田貴子（健康課課長補佐）、西尾直樹（健康課保健企画係長）、小川まゆみ（健康課成人保健係長）、藤井明子（健康課成人保健係専門員）
来賓	堀之内秀紀（副市長）
傍聴の可否	可
傍聴の有無	有（1 名）

<内 容>

1 委嘱書の交付

委嘱書は席に配付とさせていただきます。

2 あいさつ

副市長あいさつ

事務局： 会議に入る前に、本会議は公開となっており、今回 1 名の傍聴希望者について、傍聴を可としてよろしいでしょうか。

委 員： （異議なし）

事務局： それでは、傍聴者に入室していただきます。

3 議 題

事務局： 議題(1)の会長、副会長の選出につきましては、日進市保健センター条例施行規則第 5 条 2 項の規定により委員の互選により選出することになっております。委員の皆様のご発言をお願いします。

委 員： 会長に社会福祉協議会会長の田中委員、副会長に保健センター診療管理者の坂野委

員を推薦します。

事務局： 委員の皆様、よろしいでしょうか。

委員： （拍手）

事務局： 会長は、会長席への移動をお願いします。

会長： あいさつ

事務局： 議題(2)からは、進行を田中会長をお願いします。

会長： それでは、議題(2)からお願いします。

事務局： 議題(2)保健センターの施設概要について説明。(資料No.1)

会長： 質問がありましたらお願いします。今年から健康福祉部になったということですが、健康福祉部長からご挨拶をいただいてもよろしいでしょうか。

部長： あいさつ

会長： 他に質問がないようですので、議題(3)平成 26 年度事業実施状況について説明してください。

事務局： 議題(3)平成 26 年度事業実施状況について説明。(資料No.2)

会長： 質問がありましたらお願いします。

委員： 妊婦への歯科に関する指導が入ってないようだが、妊婦の時期から知ってほしい知識もある。生まれてから3ヶ月くらいで顎の発育が大きく決まってくるため、授乳の仕方や抱っこの姿勢が噛み合わせに影響することや、3歳までは甘いものを遠ざけることがむし歯を防ぐために大事といったことなどがある。1歳半や2歳、3歳で歯科を受診した際に伝えているが、マタニティ教室やパパママ教室で指導する機会があったほうがいいのでは。産婦人科での歯科指導は難しいため、やはり機会があってもいいのではないかと思う。

事務局： 妊産婦歯科健診については個別健診として、母子健康手帳に受診券をつけています。ミニママクラスの際に説明しており、引き続き個別健診で受診していただきたい。また、生まれた後については、新生児訪問で民生委員が訪問することがあるが、その際に歯ブラシと冊子を渡して周知を行うほか、10か月なかよし教室の時にむし歯

についての話をするなど、機会があれば周知を行っています。今後もしっかりやっていきたい。

委員： 妊産婦歯科健診では、赤ちゃんについての指導ができていないとは限らない。健康教育としての歯科の場があればと思う。歯磨きをしていても健診の時にむし歯がある子は、歯磨きが下手とは限らず、甘いものをどれだけ摂っているかなど、食習慣が関わってくる。その部分を妊婦に伝える機会があればいいのではないかと思う。

事務局： マタニティ教室などは参加者数が少なく、またミニママクラスはこれから妊娠や出産のことを学んでいく妊娠初期の方が多く、何もかもをここでというのは難しいが、よい方向に持っていきたいと考えています。

委員： 特定健診の受診率を気にされているようだが、例えば国民健康保険に加入していても非常勤の会社役員の場合、勤務先で健診を受けていることがある。そういった場合はどうしたらよいのか。

事務局： 市の国民健康保険に加入している方で勤務先で健診を受けている場合は、国民健康保険担当に連絡してもらおうと受診済みなので、お手数ですが国民健康保険担当に連絡をお願いします。

委員： 健康・福祉フェスティバルについて、実施した内容について反省を行い翌年にフィードバックしたいと考えているが、来場者の感想を集約しているのか。
日本脳炎について、平成 25 年度の接種率が低いように思うがこれは集計方法の違いのためなのか。
にっしん体操大会は今後も行うのか。

事務局： 日本脳炎については、平成 25 年度の対象者の算出方法が、平成 26 年度とは少し異なっています。積極的勧奨を差し控えていた年代が長かったということや、日進市は転入者が多いため対象者をつかみ切れず、多く算出していました。平成 26 年度は通知を送り接種者が把握できたこともあり、平成 25 年度と平成 26 年度の接種率が変わっています。

にっしん体操大会は、市政 20 周年ということで開催し、参加いただいた方には好評でしたが、記念事業であるため、今のところ、毎年行うという予定はありません。にっしん体操の普及は、各地域の自主グループの支援や保育園の出前講座などを今年も行う予定であり、市の運動普及推進員の皆さん等の力を借りながら、足元から固めていきたいと考えています。

健康・福祉フェスティバルについては、各ブースからの意見や感想はいただいているが、全体的な意見や感想の集約は行っていません。ただ特に問題もなく、好評であると聞いています。

委員： 健診の受診率が低いとあるが、例えばバリウムでなく胃カメラを行った場合、差額分が返ってくるといったことはあるか。

事務局： 市のがん検診ではバリウム検査のみであり、胃カメラは全額自費となっており、国のガイドラインに沿って行っています。

委員： 歯周疾患検診は平成 25 年度と平成 26 年度を比べると受診率が下がっているようだが、何か対策を考えているか。

事務局： 今まではがん検診とセットでの通知だったが、今年度は関心を持ってもらうために歯周疾患検診のみで受診券を送っています。また、受診券と一緒に歯周疾患に関するチラシを送ることでPRを図っています。40 代、50 代の受診が少ないので、その年代に今年は受診勧奨を送ろうと考えているところです。

委員： 受診率が下がっているということであれば、予算的な面もあるとは思いますが、歯周疾患検診の自己負担金の軽減なども検討してもらえればと思う。

会長： 他に質問がないようですので、議題(4)平成 27 年度事業計画について説明してください。

事務局： 議題(4)平成 27 年度事業計画について説明。(資料No.3)

会長： 質問がありましたらお願いします。

委員： 例えば野菜を食べようといった活動だが、広報 8 月号にも子ども対象の料理教室が掲載されており、秋には一般の方を対象とした教室が開かれる。また、にしん体操の自主グループや、ほっとカフェ、ぷらっとホームでにしん体操を行うときなどに手伝わせてもらっているが、そういった活動が自分の健康づくりに役立っていると思う。これからも続けていきたいと思っている。

委員： 歯周疾患検診について、10 代と 20 代、75 歳以降が現在は抜けている。歯周病について、現在は小学生くらいから感染しているということが研究で分かってきている。10 代後半の受診率が少ないが、成人と同じアプローチができればと思う。また高齢者もぜひと思う。
歯科は治療よりもメンテナンスが無料であると受診しやすいのではないかと思う。まずは低年齢、続けて高齢者といった形で関わりが持てたらと思うが。

事務局： 今は 30 歳から 75 歳までを対象としています。どこに投入するのが効果的かと考えて行っているが、今後も検討していきたいと思えます。

委員： 日進市の平均寿命は県内で男性1位、女性2位という話があったが、その要因は何かと思う。農業や運動に従事しているとか、医師に恵まれているとか聞くがどうか。

事務局： 名古屋東部の市町は寿命が長い。推測でしかないが、医療機関に恵まれているといったことや、自分の健康を意識している人が多く住んでいるのではないかと考えています。市の行う健康事業等も影響していると願っています。

会長： 他に質問がないようですので、議題(5)その他について説明してください。

事務局： 議題(5)その他について、予防接種健康被害について申請した事例が国に認定された旨を報告。

会長： 議題(5)その他については、質問がないということで、本日の平成27年度第1回保健センター運営協議会について終了します。

(午後2時45分終了)